

令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	立命館大学、立命館アジア太平洋大学	タイプ	A②
事 業 名	東アジアグローバルリーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス		
海外の相手大学	東西大学校、広東外語外貿大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、立命館大学、東西大学校及び広東外語外貿大学とで取り組んできた10年間の共同運営の成果検証を踏まえ、随所に具体的な改善策を取り込み、「東アジアを中心とするグローバルな舞台で実践的に活躍する人材」の養成にマッチした具体性、実現性のあるプランとなっている。日中韓の伝統文化と現代文化に通じた、よりグローバルな広い知識および高い言語能力、コミュニケーション能力を有する人材育成が目的の事業となっており、平成28年度より実施した第2モードを更に前進させる意欲的な内容となっている。

第3モードにおいては、立命館アジア太平洋大学(APU)の参加により日中韓3ヶ国語に加えて英語教育が深化されること、経費に占める大学負担額の割合が大きく事業展開後の更なる発展が見込まれること、具体的なラーニング・アウトカムを意識したカリキュラム・デザインが行われていること、加えて、単位取得を伴う3ヶ月以上の実渡航の交流人数が多い点、APハウス等の国際交流を促進させる仕組みを効果的に活用している点等が評価できる。東南アジアとの交流に実績をもつAPUが加わったことや、英語の運用能力を高めるプログラムを用意していることを踏まえれば、第3モードの趣旨であるASEAN諸国への連携拡張に発展することを期待したい。

一方で、事業全体を通して外国語習得が第一条件となっている面があり、マルチリンガル型の人材育成の感が強く出ているように見受けられる。グローバル人材が活躍する実質的な分野での教育内容に関して具体性に欠けることから、専門領域の知識を学習する機会の提供等、専門性やスキルを有した人材育成について、一層の検討が必要である。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。